平成２７年度（第１１４回）
兵庫県大学図書館協議会総会議事要録（案）

日　時：　平成２７年７月２４日（金）午後１時３０分～午後４時
場　所：　武庫川女子大学（中央キャンパス）学校教育館２階(SE-205)
参加者：　３１大学　４６名

１．開　　会　　当番館（武庫川女子大学　川崎課長）の司会により開会
２．当番館挨拶　武庫川女子大学　山﨑 彰　教学局長、
　　河内鏡太郎　附属図書館長
３．会長挨拶　　神戸大学　野海正俊　附属図書館長
４．議長選出　　武庫川女子大学　河内鏡太郎附属図書館長を選出

５．報告事項
（１）平成２６年度事業報告について
会長館（神戸大学）から、配付資料に基づいて報告があった。
（２）大学図書館関係活動報告について
会長館から、各団体の活動が紹介されているホームページのＵＲＬを配付資料に掲載するので、直接参照してもらうよう説明があった。
（３）「研修会等の実施について（申し合わせ)」について
会長館から、加盟各館に５月２７日付文書にて審議依頼し、全会一致で承認いただいたこと、またその結果は７月１日付文書で既に通知済であるとの報告と、この審議結果をうけ、今年度の研修事業よりこの申し合わせに従い企画実施していくとの説明があった。

６．協議事項
（１）加盟館の退会・再入会について
会長館から、聖トマス大学と神戸夙川学院大学からの退会申請、夙川学院短期大学からの再入会申請について、配付資料に基づいて説明があり、原案どおり承認された。
（２）平成２６年度決算報告について
（３）平成２６年度会計監査報告について
会計担当館（関西学院大学）から決算報告について、配付資料に基づいて説明があった。引き続き監事館（武庫川女子大学）から会計監査結果について、適切に執行されている旨報告があり、原案どおり承認された。
（４）平成２７年度事業計画（案）について
企画委員会（代表：神戸大学）から、配付資料に基づいて、研究会及び施設見学会の提案があり、原案どおり承認された。また神戸大学より、別添で配付したちらし（EUIJ 関西主催　国際シンポジウム）について紹介があった。
（５）平成２７年度予算（案）について
会計担当館から、配付資料に基づいて説明があり、原案どおり承認された。

（６）平成２８年度総会当番館について

企画委員会から、神戸女子大学を候補館とする企画委員会提案が示され、承認された。

７．承合事項

承合事項について、総会資料の冊子とは別に「承合事項」の冊子が配付されている旨、議長より説明があった。

事前に照会していた承合事項は以下の３点である。

（１）学修支援関連の活動状況について

（２）電子書籍の導入状況について

（３）図書館職員の採用・異動・養成・研修の状況について

回答内容について、はじめに会長館から概要の説明があり、次いで質疑応答と事例報告が行われた。

（１）学修支援関連の活動状況について

- 「出前貸出」実施の流れと貸出数について、兵庫教育大学から事例報告があった。
- 学生対象の取組としてのイベント「協同学修シリーズ」について神戸大学から事例報告があった。
- ラーニングコモンズアドバイザーデスクへの院生配置において、実際の活動内容と効果・課題等について神戸市外国語大学から事例報告があった。
- 選書ツアーで選定した図書リストへの、全学生による投票の取組について、その実施方法、投票数の推移等について宝塚大学から事例報告があった。
- TBL講義等におけるMoodle各コース作成準備及び教材コンテンツを作成する支援の方法等について、兵庫医科大学から事例報告があった。
- ラーニングコモンズ増床整備後の活用、広報等の効果について、神戸女子短期大学から事例報告があった。
- 国語教員と連携した図書館学修の取組について、産業技術短期大学から事例報告があった。

（２）電子書籍の活用事例について

- 『Max Planck Encyclopedia of Public International Low』事典を使って調べる課題について神戸市外国語大学から事例報告があった。
- 「BookLooper」による活用について、その資料数、今後の課題等について関西国際大学から事例報告があった。
- 英文速読用資料としてのE-Book導入について神戸松蔭女子学院大学から事例報告があった。
- 留学前・帰国後の学生対象の多読とBook Reviewの課題について、武庫川女子大学から事例報告があった。

以上